

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
新規就農者の育成について	<p>農業人口が高齢化してて、新規があんまり入ってきてないという現実があって、新規をどうやって新しく仲間を作っていくかっていうところが一番肝要になってくるのではないかなというふうに、会議なんかでは話をしている。</p>	<p>県では、各地域振興局・支庁に「就農相談センター」を設置し、関係機関・団体と連携して、新規就農者の確保・育成を図っており、屋久島町においては、令和2年度に4人が新規に就農しているところではあります。</p> <p>また、地域の農業青年クラブの活動を通じて、青年農業者の仲間づくりも支援しているところであります。</p> <p>就農相談については、県屋久島事務所農業普及課に御相談ください。</p>	経営技術課
土地改良事業の早期執行について	<p>土地改良のスプリンクラーを入れる土地改良の事業があつたりして、それが今進んではいるが、どうしても構成メンバーの平均年齢を考えると、これを10年とか15年単位でされてしまうと、もう完成した頃にはほぼ意味をなさないとかってなってしまうので、予算の執行の問題とかあるとは思いますが、できるだけ執行を早くしていただけないか。</p>	<p>事業実施地区の長期化は、出来る限り避けるべき問題であると認識しています。</p> <p>事業実施による効果の早期発現に向けて、予算の確保に取り組んでまいります。</p>	農地整備課

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
果樹試験場の熊毛地域への設置について	<p>熊毛に果樹試験場がない。奄美にはあるが、熊毛にないので、この気候にあった果樹でポンカンの代替になったりとかこれから新しくこれがいけるというのが、正直もう個人単位で試していくしかないというのが現実。</p> <p>他の地域は試験場でこれいけるんじゃないかみたいなのができるのに、熊毛はできないっていうのはちょっと、悲しいものがあると思っている。</p>	<p>屋久島における果樹の試験研究につきましては、県農業開発総合センター果樹部が県屋久島事務所と連携して取り組んでおり、現在、かんきつの新品種候補について、屋久島町において適応試験を行っているところです。</p> <p>今後とも普及部署と農業開発総合センターで連携を図りながら、果樹振興に取り組んでまいります。</p>	経営技術課
コロナ対応における福祉施設と保健所との連携について	<p>今年になって、デイサービスで職員がコロナに感染したということがあって、利用者も濃厚接触者だということで、バタバタしたことがあったが、その時に、保健所と現場の温度差ということではないが、情報の開示の問題等があった、なかなかさっそう進まなかったという問題があった。</p> <p>これについては、それぞれの機関の立場があることを改めて認識したので、今後、このような感染症がまた発生したときにどのようにしていくかというのを協力してやっていくために、これから保健所や、いろんな介護施設で私たちと一緒に話し合いをしていきたい。</p>	<p>福祉サービス利用者が感染者又は濃厚接触者であった場合は、これまでも疫学調査の中で、個人情報保護に留意しながら、できる限り関係機関に情報提供を行うよう努めているところです。</p> <p>引き続き、関係機関と連携を図り、感染症の拡大防止に努めてまいります。</p>	健康増進課

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>屋久島における障害児の支援について</p>	<p>障害を持った子供さんにも訪問に行っているが、養護施設等が種子島にしかないということもあって、屋久島で、肢体不自由のお子さんがいらっしゃる方が、これからどのようにしていけばいいのかというところは、まだまだなんか定まってないようで、そこら辺が今のところは、すごく大きな問題なのかなというふうに思っている。</p>	<p>屋久島町には肢体不自由児が利用できる通所事業所が1箇所あり、現在も肢体不自由児の利用があると聞いています。</p> <p>屋久島町の肢体不自由児に対する今後の対応については、引き続き、町や事業所と連携を図りながら、どのような対応が可能か意見交換してまいります。</p> <p>特別支援学校への就学が望ましいとされる児童生徒のうち、屋久島町内の小中学校で学んでいる児童生徒については、中種子養護学校の特別支援教育コーディネータが各学校を訪問し、当該児童生徒への関わり方などについて、具体的な助言や研修を行ったり、保護者等の相談に応じたりするなどして、教育の質の確保を図っているところです。</p> <p>県としては、引き続き、地元教育委員会と連携し、保護者等の意見も聞きながら、特別支援教育の充実に取り組んでいきたいと考えています。</p>	<p>障害福祉課 特別支援教育室</p>

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>屋久島における環境政策の推進について</p>	<p>経済活動を進めるに当たって、環境問題というのは避けて通れないので、昨年11月に終わったCOP26とか、SDGsとか、その辺をしっかりと踏まえた上で、屋久島はすごく恵まれた島で、鹿児島県においてもトップクラスじゃないかと思うほど、自然とか、電気にしても水力発電でほぼ賄えるほどの基盤があるので、そこを基調として、世界に誇れるような地域にしていきたいというのが私の一番の希望。</p>	<p>県では、再生可能エネルギーである水力の豊富な屋久島において、石油類を燃料とすることなく、CO2の排出が抑制された先進的な脱炭素社会づくりを推進する「屋久島CO2フリーの島づくり」を推進しています。</p> <p>昨年度は、地域住民が主体となった地球温暖化防止活動を促進するために、住民による協議の場を設定し、SDGs等の新たな視点を加えた脱炭素社会地域づくりの構想を策定したところです。</p> <p>今後は、電気自動車の普及に向けた取組を推進するとともに、県内外に向けて、積極的に情報発信を行うなど、住民、民間事業者、県、町が一体となって「屋久島CO2フリーの島づくり」の更なる推進を図ってまいります。</p>	<p>地球温暖化対策室</p>

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
屋久島における脱炭素社会に向けた取組について	<p>脱炭素社会に向けた取組とか、再生可能エネルギー100%といったことに関しては、当社としても、何ができるか検討しているところだが、民間企業での範囲を超えている、多大な投資が必要ではないかというふうに思っている、そこを進めていく上で大きな課題となっている。</p> <p>屋久島町が脱炭素社会に向けての取組をこれから進めていくと思うが、私どもも、屋久島町と鹿児島県、そして、国と連携しながら進めていきたい。</p> <p>私どもも、何ができるか分からないが、少しでもお役に立てることがあればというふうに思っている、その際には、ご支援をいただきたい。</p>	<p>県では、再生可能エネルギーである水力の豊富な屋久島において、石油類を燃料とすることなく、CO2の排出が抑制された先進的な脱炭素社会づくりを推進する「屋久島CO2フリーの島づくり」を推進しています。</p> <p>今後とも、住民、民間事業者、県、町が一体となって、この取組を進めてまいります。</p>	地球温暖化対策室
県の脱炭素社会の実現に向けた取組方針について	<p>今いる大人たちが真剣に取り組まないと、SDGsも本当にそうだが、地球環境の取組の答えが正解じゃなかったら、子供たちが生きていけないかもしれない。想像できない世界が存在するのではないかというのを僕はすごい感じて、これからどう取り組んでいくのかというのを、知事に県として、どうやっていくのかというのを伺ってみたい。</p>	<p>県では、これまで、地球環境を守るかごしま県民運動を展開するとともに、屋久島CO2フリーの島づくりやかごしまエコファンドなど、温室効果ガス排出抑制のための取組を推進しているところです。</p> <p>引き続き、県民、民間事業者、行政が一体となって、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、さらなる実効性のある対策に取り組んでまいりたいと考えております。</p>	地球温暖化対策室

知事とのふれあい対話（屋久島町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
将来ビジョンについて	知事のビジョンというのも、ぜひ伺ってみたい。	<p>本格的な人口減少など大きな変革期の中にあって、時代の流れを的確に見据え、県勢の発展や県民福祉の向上に向けて、各般の施策を着実に推進していくことが求められております。</p> <p>県では、おおむね10年という中長期的な観点から、鹿児島を目指すべき姿や施策展開の基本的方向等を示し、県政全般に渡って最も基本となるものとして、平成30年3月に「かごしま未来創造ビジョン」を策定しております。</p> <p>その後、新型コロナウイルス感染症の拡大、デジタル化の進展、SDGsの推進やカーボンニュートラルの実現など、昨今の社会経済情勢が大きく変化してきており、これらへの対応が重要となってきたことから、現在見直しを進めているところです。</p>	総合政策課

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
馬毛島の軍事化について	<p>今、一番問題だと思っているのが、馬毛島の軍事化というところ。具体的にどういうふうに関後というか、考えられているのか、その辺の意見を聞きたい。</p>	<p>馬毛島における自衛隊施設の整備等については、これまで、住民や関係自治体などから、騒音による周辺環境への影響や、漁業への影響などを懸念する意見が出ているところでは、</p> <p>県としては、今後、国により、環境影響評価等が行われ、住民の皆様方が適切に判断できる材料が示されるものと考えており、その内容等を見極める必要があると考えています。</p> <p>今後とも、関係自治体の首長と意見交換を行い、その内容を国にお伝えするとともに、国による説明や地元の意見をお聞きした上で、県としての考え方を整理し、対応を検討してまいりたいと考えています。</p>	総合政策課
県の脱炭素社会の実現に向けた取組について	<p>全国知事会で、脱炭素地球温暖化対策本部というのをやって、これ知事会でまとめたいろんな施策を国に提言するというところで、国に提言するというのも大事だが、COP26で分かっているように日本政府は、石炭火力発電所にしても、ガソリン自動車にしても、まだまだ温存してやるぞという、かなり世界的に見たら遅れているという、そういう国に対してもの言うのもそれは大事だが、知事として、県で、率先して何かやっていくというのを示して欲しいと思う。</p>	<p>県では、これまで、地球環境を守るかごしま県民運動を展開するとともに、屋久島CO2フリーの島づくりやかごしまエコファンドなど、温室効果ガス排出抑制のための取組を推進しているところでは、</p> <p>県においては、2050年までにカーボンニュートラルを目指す旨、表明しており、今年度は、民間への充電インフラや蓄電池等の導入支援、公用車の次世代自動車への転換、蓄電池を併用した太陽光発電のモデル導入などを行っております。</p> <p>引き続き、県民、民間事業者、行政が一体となって、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、さらなる実効性のある対策に取り組んでまいりたいと考えております。</p>	地球温暖化対策室 エネルギー政策課

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
女性の政治参加について	<p>県の職員や市町村、あとそれぞれの議会の女性の比率について今問題になっているが、クォータ制なんかも、どう考えているか聞かせてほしい。</p>	<p>社会の様々な分野の発展のためには、各分野の政策・方針決定過程に多様な立場の人が多様な意見を持って参画し、男女双方の意思が公正に反映されることが重要です。</p> <p>しかしながら、県や市町村における管理職や議会議員に占める女性の割合は、依然として低い状況にあります。</p> <p>我が国においては、現在のところ政治分野における性別によるクォータ制度を導入していないところですが、県においては、各種審議会等への女性委員の登用に当たり、「令和4年度までに40%以上」とする数値目標を定め、取組を進めているところです。</p> <p>また、女性の能力向上やキャリア形成等を支援する「女性のエンパワーメント事業」等に取り組み、ジェンダー平等の視点に立ち、様々な分野における女性の参画の促進を図っているところです。</p>	男女共同参画室

知事とのふれあい対話（屋久島町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>馬毛島問題に対する知事の姿勢について</p>	<p>知事の権限として、馬毛島の軍事基地着工建設に対して、知事は権限を持っていると聞いた。そういうところを含めて、今後、馬毛島の問題に対して、知事はどのような姿勢でいるのか、ぜひお伺いしたい。</p>	<p>馬毛島における自衛隊施設の整備等については、これまで、住民や関係自治体などから、騒音による周辺環境への影響や、漁業への影響などを懸念する意見が出ているところです。</p> <p>県としては、今後、国により、環境影響評価等が行われ、住民の皆様方が適切に判断できる材料が示されるものと考えており、その内容等を見極める必要があると考えています。</p> <p>今後とも、関係自治体の首長と意見交換を行い、その内容を国にお伝えするとともに、国による説明や地元の意見をお聞きした上で、県としての考え方を整理し、対応を検討してまいりたいと考えています。</p>	<p>総合政策課</p>

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
川内原発について	<p>原発にしても、3号炉は凍結する。1, 2号炉は、耐用年数40年が基本であるから、それをあと20年延長することに関しては、慎重であるべきだという態度をとっている。こういうことも非常に頼もしく思っている。</p> <p>本当に国防のことを考えるなら、原発こそ危ないと思う。</p> <p>日本の国内の50何基の原発についてどうにかするというのを、まず考えないと、本当の意味での安全保障はないと思っている。</p> <p>そういうところの点で、知事はどうお考えなのか。</p>	<p>川内原発3号機の増設については、凍結することとしております。</p> <p>1号機, 2号機につきましては、原発の立地県として、九州電力と国に、安全性の確保を求めてまいります。また、県民の生命と暮らしを守る観点から、川内原発の安全対策・防災対策の充実・強化に取り組んでまいります。</p> <p>原子力発電所の運転期間については、原子炉等規制法で40年とされており、国の原子力規制委員会が認めた場合、1回に限って20年まで延長することが認められています。川内原発については、九州電力が運転期間延長の認可申請を行う場合には、「原則40年」との認識の下、特例的な取扱いの可否について、原子力政策に批判的な学識経験者を含む形で、県原子力安全・避難計画等防災専門委員会の委員構成を見直した上で、特別点検の結果や原子炉等の劣化状況の評価、原子力規制委員会における審査の状況等について九州電力に説明を求め、科学的・技術的な検証を徹底的に行い、九州電力及び原子力規制委員会に対して、厳正な対応を要請してまいります。</p>	<p>エネルギー政策課</p> <p>原子力安全対策課</p>

知事とのふれあい対話（屋久島町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
日米地位協定について	<p>知事会の方で、改定した方がいいんじゃないかという話が出ているというふうに聞いているが、日米地位協定がある限り、在日米軍は、ほとんど何をやってもいいというような、規制がほとんど、国内法の枠内には入らないというふうに聞いている。</p> <p>是非、知事会の方で、地位協定をもっと日本の国民のためになるように改定してほしいと思うが、現在のところ、知事会の方ではどんなお話になってるのか聞きたい。</p>	<p>日米地位協定につきましては、全国知事会として、航空法などの国内法を原則として米軍にも適用させることなどを求める提言書を決議しているところです。</p> <p>防衛・安全保障政策は国の専管事項であり、国においては、全国知事会の提言内容について、一層積極的に取り組んでいただきたいと考えております。</p>	総合政策課
G・T・Oの九州圏内への拡充について	<p>G・T・Oが2月の中旬ごろ再開されるという話だが、それまでは、今県の方の県民割を拡充しながらやってくださいというような通達が出てると思うが、これを隣県にまでという話が入ってきているが、これを何とか九州域内とか、この辺ぐらいまで少し大きく拡大していただければ、我々も助かるかなというふうに思っている。</p>	<p>県では昨年12月13日以降、「今こそ鹿児島の旅（第2弾）」の割引対象を熊本県・宮崎県及び沖縄県に順次拡大し、利用促進に努めてきたところですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、事業を停止したところですが、引き続き、今後の感染拡大の状況・変化に適切に対応し、感染防止対策の徹底を図りつつ、感染が落ち着き次第、事業を再開し、離島への誘客促進を図るとともに、地域ブロックへの拡大等については、国の実施決定があり次第、速やかに実施できるよう準備を進めてまいります。</p>	観光課

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>観光クーポン等の 県民割における 離島割引率の 拡充について</p>	<p>県民割の方，離島の方がちょっと 売れ行きが芳しくないというのも 聞いている。 やはり私も屋久島は離島なの で，どうしても二次交通がかかっ てしまうということで，割引率に ついて，今，知事のご判断で，屋 久島の方は少し良くしていただい てるということで大変感謝してい るが，やはりそれではまだまだ ちょっと足りないのかなっていう ような感じがしている。 そういう中で，今度新しい県民割 をしていただけるのであれば，さ らに離島の方にはちょっと割引率 を高めていただくとかしていただ きたい。</p>	<p>県では，より多くの観光客に離 島を訪れていただけるよう，令和 3年度「かごしま旅クーポン事 業」において，離島分の旅行券に プレミアムを上乗せしたところ です。また，国の補助事業を活用 して実施している「今こそ鹿児 島の旅（第2弾）」や今後，再開 が予定されている国の「G・O・ T・O・T・R・A・V・E・L事業」 については，開発促進協議会 や知事会等を通じて，国に離 島の割引上限額の引上げ等を要 望したところですが，国におい ては，特段，離島への特例措置 が講じられていないことから， 令和4年度は，鹿児島G・O・ T・R・A・V・E・L推進事業にお いて，県独自に離島への旅行に 係る割引上限額の上乗せを行う こととしています。 離島は本県の魅力ある観光資源 の一つであり，今後とも，需要 喚起策を実施する際には離島 への誘客が促進されるものとな るよう努めてまいります。</p>	<p>観光課</p>
<p>屋久島空港の整 備及び滑走路の 延伸について</p>	<p>屋久島空港の滑走路延伸も今環 境アセスをやっているところだ が，そういう中で1日でも早く 早期着工をお願いできないか というふうに思っている。 それと，その中で，やはり屋 久島らしい空港を作っていただ ければというふうに思っている。 木材を使ったり，地元材を使っ たりしながら，観光客の皆様が 屋久島におり立ったときに，「 やっぱり屋久島の空港っていい ね」というような，空港の整備 をしていただければ大変ありが たい。</p>	<p>県では，屋久島空港の滑走路延 伸の早期事業化に向けて取り組 んでおり，現在，環境影響評価 の手続きや空港施設の基本設計 を行っています。また，事業化 のためには，ジェット機就航の 見込みも必要なため，各航空 会社と意見交換を行っています ところです。 今後，滑走路延伸の事業化が決 まり，新たな旅客ターミナルビ ルの整備について検討が進めら れる中で，屋久島の地杉材の活 用について，旅客ターミナルビ ルの所有者である空港ビル会 社に働きかけを行っていきたく と考えています。</p>	<p>港湾空港課</p>

知事とのふれあい対話（屋久島町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
クルーズ船の寄港可能な港の整備について	<p>クルーズ船の港の整備もしていただきたいなというふうに思う。県も一生懸命していただいているが、整備よりも船が大きくなるスピードの方が早過ぎてなかなか寄港できない。船会社も、屋久島の方に着けたいけれども、なかなか港が接岸ができないので、何とか整備の方も進めていっていただけないかという話も聞いたりするので、県の方でも国の方と話をしていただきながら、できることからしていただければなというふうに思う。</p>	<p>大型クルーズ船対応岸壁については、船社の意向等を踏まえ、国や屋久島町と協議を行い、事業化についての検討を進めます。まずは、クルーズ船寄港にも資する港内の静穏度向上を図るため、防波堤（沖）（北）の整備を進めます。</p>	港湾空港課

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>屋久島と奄美の定期便の就航について</p>	<p>世界遺産に登録された奄美との連携について、やはり屋久島と奄美間に定期便を就航してほしいと思っている。奄美 - 屋久島間というのは一本定期便があれば、長く鹿児島県に滞在ができる。長期滞在プランが、できるんじゃないかなというふうに思っているので、県の方からも、航空会社の方に働きかけをお願いできないか。</p>	<p>世界自然遺産登録地である屋久島と奄美を結ぶ航空路の開設については、両地域間の周遊性を向上させ、新たな観光需要を掘り起こすために重要であると考えております。また、航空会社においては、奄美の遺産登録を受けて、両地域を結ぶチャーター便を運航する動きもあるところです。</p> <p>路線の新規開設に向けては、航空事業者の意向が重要であることから、県においては、引き続き事業者の意向把握に努めるとともに、関係機関と連携して、就航に向けた働きかけを行ってまいります。</p> <p>また、観光客の長期滞在に向けた取組については、地元市町村等とも連携して観光素材説明会や旅行会社へのセールス活動などを通じて、世界遺産をPRするとともに、鹿児島と屋久島、奄美群島を結ぶ世界遺産クルーズなど、新たな周遊観光ルートの開発や旅行商品化に取り組んでいるところです。</p> <p>今後とも、それぞれの世界遺産地域の自治体や旅行会社、航空・航路事業者など幅広い関係者と連携して、周遊観光ルートなどの商品化に向けた取組を進めてまいります。</p>	<p>交通政策課</p> <p>観光課</p>

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
オーガニック給食の導入について	オーガニックや地産地消について活動されてる方が多い。県でオーガニック給食を実施していただくことはできないのか。	<p>地域でとれた食材を使った学校給食は、地域の自然や文化、産業等に関する理解を深めたり、生産者への感謝の念を育む上で重要な役割をもつことから、有機農法等を含め、地域で生産された食材の学校給食への活用が進んできているところでは、市町村立学校の給食で使用される食材の約6～7割が県内産となっています。</p> <p>県が毎年実施している調査では、市町村立学校の給食で使用される食材の約6～7割が県内産となっています。</p> <p>今後も市町村教育委員会等と連携し、オーガニックや地場産物の活用が図られるよう努めてまいります。</p>	保健体育課
給食無償化について	給食費の無償化、やっぱりこれから子育てしていくために必要。食はすごい大事で、食育、屋久島は本当に豊かなので、その無人市で野菜とかが買える。地域のものを食べる、育ててくれている人たちが分かるものを食べる、ということはずいぶん大切である。	<p>小中学校の給食費については、関係法令に基づき、生活困窮世帯を対象に、その全額又は一部をそれぞれの市町村の基準に基づいて助成が行われています。</p> <p>県教委では、今後も市町村に対して助成制度の充実を助言してまいります。</p>	保健体育課

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
空き家対策について	<p>高齢化している中で、何か早急な問題というか私が今住んでいる場所、結構多分どこの田舎もいろんな人に話を聞いたらそうなので、その空き家問題をもっと具体的に、どうにかできないかなと思って、塩田知事に聞いてみたい。</p>	<p>空き家対策については、空家等対策の推進に関する特別措置法において、市町村が地域の実情に応じて必要な措置を講じるよう定められており、屋久島町においても、空き家の改修費用等の支援が行われております。</p> <p>県においては、市町村の取組を支援しており、引き続き、空き家対策に関する研修会の開催や情報提供などを行ってまいります。</p>	住宅政策室
県の施策に関する商工会等への迅速な情報提供について	<p>商工会等への県の施策に関する情報提供を迅速にして欲しい。</p> <p>県から新型コロナ関連による支援策について、事前の商工会への情報提供が、すごく遅くて急な場合が多い。</p> <p>このために、事業者が相談に来られても、経営指導員が、施策内容を完全理解するのに時間がかかり、的確な回答ができないことがあった。</p> <p>事業者等に早めに周知し、支援するためにも、県から商工会等への情報提供を早くするように今後こういうことがあったらお願いしたいということと、それとこういう大事な委員会には、商工会も加えて欲しいと、そしたら情報が早くなるのかなと。</p>	<p>県内の事業者が様々な支援制度を適切に活用していくためには、地域の商工業者の最も身近な相談窓口である商工会・商工会議所が、制度の内容を正確に把握した上で、事業者からの問い合わせに的確に対応するとともに、周知広報に御協力いただくことが非常に重要であると考えております。</p> <p>現在、県の事業者向け支援制度の概要等を公表する際は、商工会等に対しても当該内容をできるだけ早くお伝えするとともに、商工会等の職員が支援金等の申請受付開始前に制度の詳細を把握いただけるよう、情報提供を行っているところです。</p> <p>今後とも商工会等と緊密に連携しながら事業者への支援に努めてまいりたいと考えております。</p>	商工政策課

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>コロナに関する支援金申請手続きのサポートについて</p>	<p>コロナに係る支援金の申請のサポートについて、職員が慣れるまで派遣をして欲しい。 少ない中で職員、パートを確保するのは難しい。パート職員が確保できるまで職員が対応しないといけない。 労働力もかなり負担をかけているということで、そういったことができれば今後また、コロナの感染者がまた増えたりとか、そういったことになるとまた、いろんなことがまた起きたり、そういう対策のためにも今後、そういうのを検討していただきたい。</p>	<p>商工会は、商工業者に対する情報提供や指導、相談対応などのほか、イベント開催等を通じ、地域経済の発展に重要な役割を果たしていただいております。 新型コロナウイルス感染症の拡大後、小規模事業者等からの相談が大幅に増加しており、商工会が有効な情報提供や経営に関する助言を行ったことで、商工会に対する事業者の期待は一層高まっているものと認識しております。 県としては、経済状況の変化や商工会等の実情に応じ、今後、必要な支援を検討してまいります。</p>	<p>商工政策課</p>
<p>観光客向けのプレミアム商品券の発行について</p>	<p>コロナアフターフォローに関する関係で、観光客向けにプレミアム商品券の発行事業をやりたいと考えているが、県の方から市町村に予算配分をできないものか。</p>	<p>県では、観光客向けのプレミアム商品券の発行事業について、市町村向けの予算配分は行っていませんところですが、令和3年度は、これまで県民向けに実施してきた「今こそ鹿児島の旅（第2弾）」において、一定額以上の旅行商品を購入された方には2千円分の商品クーポン（「今こそ鹿児島クーポン」）を発行しました。 このクーポンは、県内各地のお土産店や飲食店をはじめ、幅広い業種の店舗でご利用いただけるものとしたところであり、約1,700店舗に参加をいただきました。 同事業については、2月20日に終了する予定ですが、今後とも、より多くの観光客を呼び込み、地域経済の活性化につながる事業を実施してまいりたいと考えています。</p>	<p>観光課</p>

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
電気自動車の購入費に対する助成について	<p>確か平成30年までに、電気自動車の普及で、鹿児島県から補助金が出てたと思う。 ここ3年4年目になるが、補助金もうゼロということで、電気自動車は高額のために購入がなかなか難しい。 今、世界自然遺産の島でCO2削減ということで一生懸命言っているが、ぜひ、これから先は、ハイブリットカー、電気自動車がいざばらくは主流となると思う。電気自動車の普及のために、予算配分をまた復活をしていただけないか。</p>	<p>県では、再生可能エネルギーである水力の豊富な屋久島において、石油類を燃料とすることなく、CO2の排出が抑制された先進的な脱炭素社会づくりを推進する「屋久島CO2フリーの島づくり」を推進しており、その一環として、島内4箇所に電気自動車の急速充電設備を設置しています。 今年度は、個人に対する支援は行っておりませんが、民間事業者等が次世代自動車（電気自動車、プラグインハイブリット自動車、燃料電池自動車）等の自立・分散型エネルギー設備の導入や、電気自動車の充電設備の設置を行う際の支援を行ったところです。</p>	<p>エネルギー政策課 地球温暖化対策室</p>
漂着ゴミについて	<p>海辺を歩くと綺麗な流木や貝殻が流れてきているが、それにまじって、たくさんの漂着ゴミが、流れ着いている。与論町では、浜に拾い箱という名前で、誰でも、海で拾ったゴミをその箱の中に入れることができるという箱を設置し効果が出ている。 今拾わないと、紫外線とか、風にさらされてどんどん細かくなって、マイクロプラスチックと呼ばれる、もう回収不可能なそういうゴミになってしまうので、そうなる前には拾わなければというのと、拾えば減るのは確実なので、拾いたい人が拾えるような、そういう人たちの善意を、行政がサポートをして欲しいということをお願いしたい。</p>	<p>市町村への補助事業である海岸漂着物地域対策推進事業において、NPOやボランティア団体等が、海岸清掃により集めた海洋ゴミを一時的に保管する設備や海ゴミ発生抑制に係る立て看板の設置などは、補助の対象となっています。 「拾い箱」については、県のリーフレットにおいて、喜界町及び与論町の取組を紹介しており、引き続き、有効な取組として市町村に情報提供してまいります。</p>	<p>廃棄物・リサイクル対策課</p>

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>離島活性化交付金について</p>	<p>現在、熊毛地区では、国土交通省による補助事業で、離島活性化交付金を活用して、原木丸太等の海上輸送費補助を、8割受けている。財源の内訳は、国が6割、町が2割となっている。8割の補助を受けていることには、大変ありがたく感謝をしている。</p> <p>しかしながら、残りの2割負担が、森林経営に大きいのしかかっている。一方、奄美群島では、奄美群島離島振興法により、10割補助を受けている。</p> <p>財源の内訳には、鹿児島県からの補助もある。</p> <p>熊毛地域と奄美とは、様々な要件の違いはあると思うが、この2割の自己負担を何とか軽減したいと思っているところ。</p> <p>県からも、熊毛地域に対して、少しでも補助をしていただけないか</p>	<p>奄美群島振興交付金における輸送コスト支援については、奄美群島から鹿児島港または鹿児島空港間の輸送経費相当額が対象となりますが、離島活性化交付金における輸送コスト支援については、離島から県外を含む本土間の輸送費が対象となります。</p> <p>離島活性化交付金につきましては、離島の実情が反映され、更なる制度の充実が図られるよう、引き続き、市町村と連携しながら、県開発促進協議会等を通じて、国に対し、要望してまいりたいと考えております。</p>	<p>離島振興課</p>